

平成29年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第11回講義

新幹線の建設技術

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局 次長
長谷川 正明 氏

長谷川先生からのメッセージ

1年前の平成28年3月26日、北海道新幹線(新青森～新函館北斗)が開業し、道南地区の観光客の増加など、その効果が表れております。

整備新幹線は、国民経済の発展、国民生活領域の拡大、地域の振興に資するものとして、その開業効果をできる限り早期に発揮させることが国民経済上重要であると、残る整備区間の前倒しが求められております。

講義では、整備新幹線の効果や早期整備を求められる北海道新幹線の札幌延伸についてどのような技術課題があるのかなど紹介したいと思います。

日時：
2017年6月29日
木曜日

5講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

長谷川正明先生

平成5年埼玉大学工学部卒業。

平成5年日本鉄道建設公団入社。国土交通省鉄道局技術企画課技術開発室、鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部九州新幹線建設局大牟田鉄道建設所長、東北新幹線建設局工事第一課長、第二課長、北陸新幹線第二建設局計画課長、企画調査部情報システム課総括課長補佐等を経て、平成27年4月から現職。

担当：工学系教育研究センター 小林 幸徳教授
内線：7163 Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp